

ベビーカーをご使用いただく前にお読みください。

ベビーカー編

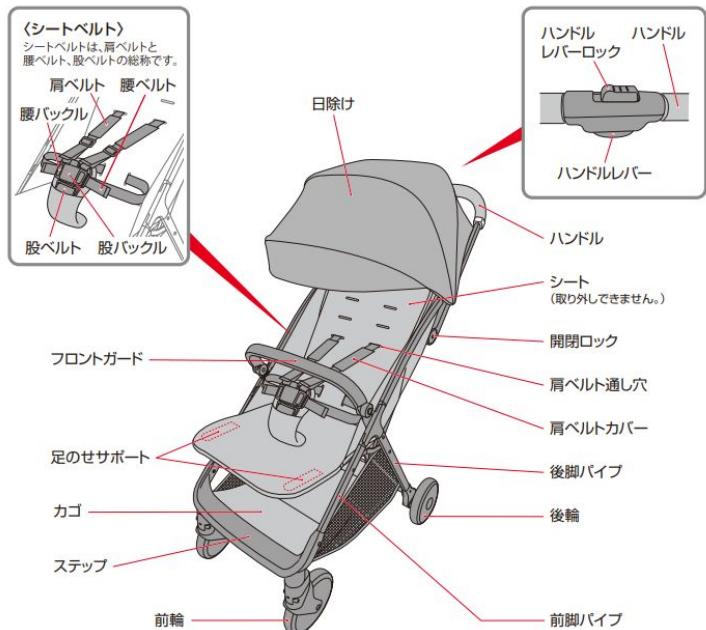
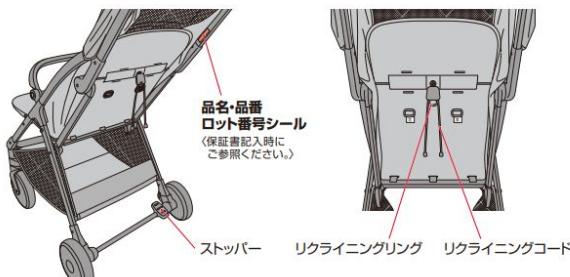
B型車いす Viit(ヴィット)

Aprica Viit取り扱い説明書引用

Viit(B型ベビーカー)の各名称

製品の特徴

- ・ハンドル：背面側固定式
 - ・カゴ耐荷重：5kg
 - ・シートベルト：マグネットバックルを使用
- ※本製品はチャイルドシートの取り付けには対応していません。



使用範囲	生後7カ月 [*] ～48カ月(体重約22kg)まで ・最大使用は、お子さまが生後48カ月もしくは体重22kgのどちらか早い方に達するまでとなります。 ・お子さまの体重が17kgを超えて22kgまでのご使用については、SGマーク制度の適用対象外になります。(SGマーク制度についてはP23参照)
適合基準	SG基準B形
望ましい連続使用時間	座らせた姿勢:1時間以内

*ここでいう生後7カ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、7カ月を経過した乳児を指します。
この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

開き方



・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。

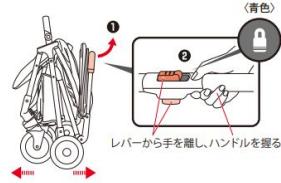
お願い 梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

1 開く前に



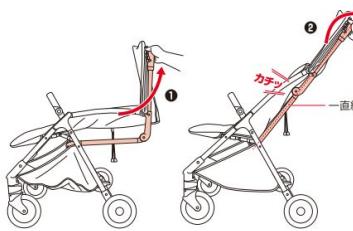
- ①ストップバーをロック解除する。(P11参照)
- ②ハンドルレバーロックを矢印の方向へスライドさせた状態で、(■赤色が表示されます。)
- ③ハンドルレバーを強く握る。

2 開く



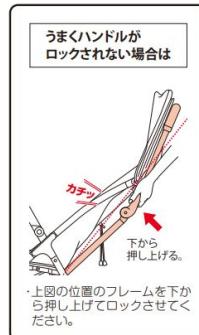
- ①そのままハンドルを持ち上げ、車体を少し開く。
- ②ハンドルレバーとハンドルレバーロックから手を離してハンドルの脇に手をすりしハンドルを握る。レバーから手を離すと、ハンドルレバーロックが自動でスライドして戻ります。(■青色が表示されます。)

3 車体のロック



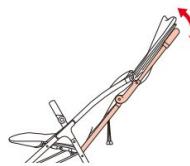
- ①そのままハンドルを持ち上げ、
- ②カチッ!と音がしてハンドルがロックされるまでさらにハンドルを引き上げる。

お願い 梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。



- ・上図の位置のフレームを下から押し上げてロックしてください。

4 ロックの確認



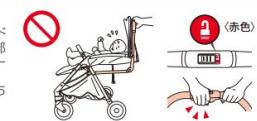
- ハンドルを2~3回上下に動かし、ベビーカーが折りたたまれないことを確認すること。

お願い ベビーカーを開いた後は必ずハンドルを上下に動かし、ベビーカーが折りたたまれないことを確認すること。
使用中にベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

ベビーカー使用中は

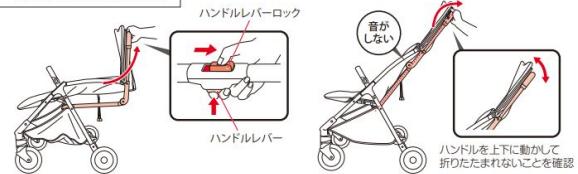


- ベビーカー使用中はハンドルレバーとハンドルレバーロックを握らないでください。常に■青色が表示されている状態で使用してください。



- お願い ベビーカー使用中はハンドルレバーとハンドルレバーロックを握らないでください。必ずハンドル部に■青色が表示された状態でベビーカーを走行させること。
ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

開閉ロックについてご注意



- お願い ハンドルレバーとハンドルレバーロックから手を離さず、握ったままハンドルを引き上げた場合、前ページの3「車体のロック」の④「カチッ」と音がしない場合があります。必ず、4「ロックの確認」のようしてベビーカーが折りたたまれないことを確認してください。

折りたたみ方



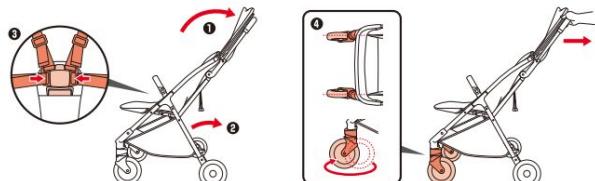
・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。



・シートベルトのバックルをとめてからベビーカーを折りたたむこと。シートベルトが開閉ロック部分に挟まつてベビーカーが折りたためなくなったり、バックル破損やバックルのマグネット部分への異物の付着のおそれがあります。

お願い 梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。

1 折りたたむ前に



- ①日除けを閉じる。
- ②カゴから荷物を取り出す。
- ③シートベルトのバックルをとめる。

- ④車体をまっすぐ後ろに引き、前輪が外側に向くようにする。

お願い 前輪が外側を向いていないと折りたたみ後に車体が転倒する場合があります。

2 ロックの解除と折りたたみ

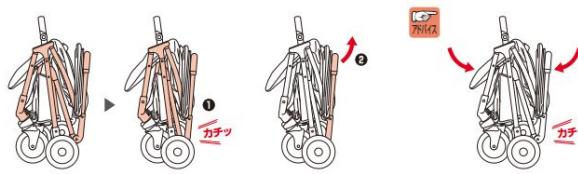


- ①ハンドルレバーロックを矢印の方向へスライドさせた状態で、(■赤色が表示されます。)
- ②ハンドルレバーを強く握る。

- ③握ったまま、軽くハンドルを前に倒す。

- ④開閉ロックが解除されます。
- ⑤ハンドルから手を離す。
- ⑥車体が自然に折りたたまれていきます。

3 折りたたみロックとロックの確認



- お願い 最後まで折りたたまれると、「カチッ」と音がして、ロックされます。
軽くハンドル部を持ち上げて、車体が開いていかないことを確認してください。
車体が開いてしまう場合は、矢印の方向に押しこみ、ロックさせてください。

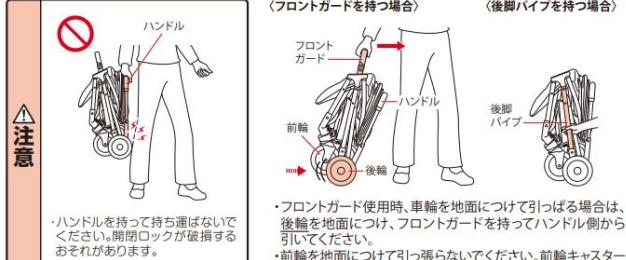


- お願い 前輪の向きに注意 前輪が内側を向いた状態で折りたたまれてしまった場合、ベビーカーが自立しません。

- お願い 前輪が内側を向いている。
その場合は、外側に向くように前輪を動かしてください。
前輪が外側を向くと、「カチッ」と音がして、前輪キャスターが軽くロックされます。

折りたたんだ後に

- お願い 折りたたんだ後にベビーカーを運ぶ場合は、フロントガードか後脚パイプのどちらかを持ってください。



- お願い フロントガードを持つ場合 フロントガードとハンドルを握り、前輪と後輪を地面につけて引っぱる場合は、後輪を地面につけて、フロントガードを持ってハンドル側から引いてください。
後脚パイプを持つ場合 後脚パイプとハンドルを握り、前輪と後輪を地面につけて引っぱる場合は、前輪を地面につけて引っぱらないでください。前輪キャスターの向きが変わらぬ故障の原因になります。

リクライニング調節

背もたれを倒す時

- ・肩ベルトをゆるめる。(P16参照)



- ①片方の手でお子さまを支えて、リクライニング リングを引く。
- ②リクライニングリングを引きながら背もたれを倒し、角度を調節する。

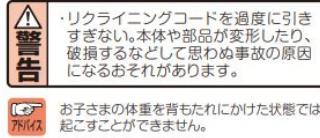
- ・リクライニング調節後、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。(P16参照)

〈お子さまの頭が背もたれ上端部より上まで来るようになったら〉



背もたれを起こす時

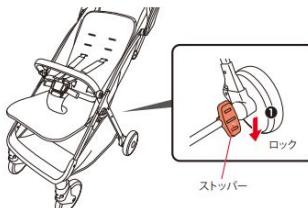
- ・お子さまの体重が背もたれにかかるついていない状態で、リクライニングコードを左右に引く。
- ・リクライニングコードは片側ずつ引かず、左右同時に引いてください。



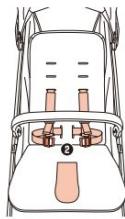
お子様の乗せ方

お子さまの乗せ方

1 準備



- ①ストッパーをロックする。



- ②股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。

- ・お子さまを乗せづらい場合は、フロントガードを取り外してから(P11参照)乗せてください。



・お子さまだけでベビーカーに乗り降りさせない。お子さまが自分でベビーカーに乗り込む場合は、必ず保護者の方がベビーカーを支えた状態で行うこと。転倒のおそれがあります。



3 ベルトの調節

腰ベルト



- ・ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

肩ベルト



- ・アジャスターを持って矢印の方向にベルトを引き、長さを調節する。

股ベルト



- ・ベルトを矢印の方向に送り、
・ベルトを引き、長さを調節する。
・ベルトの調節後、股バックル裏のホックを股ベルトカバーにとめる。



・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。
・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
・股ベルトの末端の出ししろ(部分)は必ず3cm以上残す。
・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。

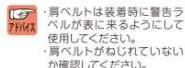
4 最後に



- ・ストッパーをロック解除する。



- ①お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せる。
②お子さまの腕を肩ベルトに通す。
③バックルをとめる。
④左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。
⑤腰バックルのインジケーター(白色)が見えていることを確認する。



- ・シートベルトを締めた後は、左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ちるおそれがあります。

・肩ベルトは必ず肩ベルトフックに差し込んで使用すること。肩ベルトがお子さまの首に巻き付く窒息するおそれがあります。

・バックルを締めた時に、お子さまの手や衣服を挟まないよう注意してください。

・シートベルトを締めても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれ、予期せぬ行動が事故につながるおそれがあります。

・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるなどベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

